

2017年6月16日

下江議長 殿

## 市長発言に対しての厳正な対処を求める

新城市議会議員 白井 倫啓

6月15日の僕の一般質問において、穂積市長は質問に答えるのではなく、僕の活動に対して幾たびか反論・反問を行いました。一般質問終了後、市民から疑問の声が寄せられ、一般質問の場が、市長と議員の討論会の様な場面があったように振り返っています。

以下の様な発言があったと記憶しています。

1. 白井議員は、人のやっていることをこき下ろして批判している。
2. 詳しくは市長選の論争でお答えする。
3. 白井議員のやっていることは、素晴らしいと思うが、なぜ人が支持しないのか考えた方が良い。
4. 白井議員の野田城址と長篠城跡を結ぶ活動には注目したが、途中で分裂した。やり方に問題があったのではないか。  
等等。

市長といえども、議会のルールに則って行動すべきだと考えます。議論を深めるために、新城市議会は反問権を認めています。市長は明らかにそのルールを無視し、質問に答えず、一方的に僕の活動批判まで繰り返しました。ルールに則るのであれば、議長に反問権の行使の許可を受けての発言とすべきでした。

新城市議会は、現在議会基本条例の見直しを進めています。議員の自由討議を重視し、問題の本質を掘り起こし、市民福祉向上のための結論を導き出すことに注力しようとしています。その中には、反問権に加え、反論権も規定し、執行部側からの議論も最大限に議会議論に反映させようとしています。

しかし、繰り返しますが、あくまでも議会ルールを無視した議論までを認めたら、議論が深まらないどころか、市民の不信を招きかねません。議長として議事整理権を果たすべき場面が、市長発言であったと考えます。今回の市長発言を精査し、議会ルールに則った発言であったのか、6月議会中に明確に示すことを求めます。問題が確認された場合には、市長本人に謝罪の機会を6月議会中に設定してください。

参考に、僕に寄せられた市民の声（僕のFBへの投稿）を紹介します。

「本日ケーブルテレビで新城議会を見ました。白井君の質疑が面白かったです。それにしても、市長の答弁は酷いね。新東名で雇用150名とか自慢してたけど、なんか情けない。ただただ一議員を個人的感情でこき下ろすだけの、答弁にはレベルの低さを感じました」